

Fukushima Young Entrepreneurs Group

# 35 th Anniversary



福島商工会議所青年部35周年記念誌

# 商工会議所青年部

## YEG 宣言

私は YEG として、夢に挑む。  
私達は YEG として、地域を愛し、  
日本（にっぽん）を愛する。  
すべての YEG は、連帯の証となる。

### 綱 領

商工会議所青年部は  
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い  
次代への先導者としての責任を自覚し  
地域の経済的発展の支えとなり  
新しい文化的創造をもって  
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

### 指 針

われわれ青年部は  
一、地域を支える青年経営人として先導者たる気概で研鑽に努めよう。  
二、国際社会の一員であるべき、国際人としての教養を高めよう。  
三、豊かな郷土を築くために、創意と工夫、勇気と情熱を傾けよう。  
四、文化を伝承しつつ、新しい文化の創造に向かって歩を進めよう。  
五、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ、力を合わせ國の礎となろう。

商工会議所青年部の歌

## 「伸びゆく大地」

作詞 石井耕二  
作曲 石井歓

一、伸びゆく大地	伸びゆく大地	日本の
伸びゆく大地	伸びゆく大地	日本の
拡がる街みなみ	拡がる街みなみ	青い空
集える仲間は	集える仲間は	それぞれに
地域を支える	地域を支える	地域を支える
願いをかたちに	願いをかたちに	気概持つ
求めて我らは	立ちはだかる	変えるため
二、幾山河を	幾山河を	道は果てしなく
幾山河を	越えていく	遠いけど
夢違う気持ちは	夢違う気持ちは	忘れない
人と人との	人と人との	語りあい
心と心を	心と心を	結ぶため
商工会議所	商工会議所	時代を我らは
青年部	青年部	先駆ける
三、自由の海の	自由の海の	時代を我らは
自由の海の	自由の海の	先駆ける
世界の波が	世界の波が	いつの世も
歴史の舵は	歴史の舵は	打ち寄せる
熱ある者が	熱ある者が	取ってきた
豊かな郷土を	豊かな郷土を	築くため
明日に我らは	明日に我らは	船出する
商工会議所	商工会議所	青年部



### 祝 辞

経済産業省 東北経済産業局長  
**渡邊 政嘉**

福島商工会議所青年部創立35周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

貴青年部は昭和60年4月に設立以来、青年経営人の交流を通じ、福島市そして東北地域の経済発展のためにご尽力されてきました。

2019年には「東北六魂祭」の意思を継いだ「東北絆まつり」を福島市で開催し、東日本大震災からの復興に大きく貢献されました。

また、オリンピックマーチの作曲者である地元出身の「古閑裕而氏」の功績に早くから着目し、自治体や市民を巻き込みながら誘致活動を長年続け、NHK朝の連続テレビ小説の放映につなげるなど、その活動に対し深く敬意を表する次第です。

日本経済は、世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響に見舞われ大きな打撃を受けております。

経済産業省では、持続化給付金や家賃支援給付金、GOTO商店街など、今までにない各種支援策を創設し、皆様に御活用いただくことで事業を継続していただいているります。

今後は、「新たな日常」を先取りすることにより、日本経済がこれまで抱えてきた構造的課題である、少子高齢化、低付加価値生産性、東京一極集中等を解決するチャンスにもつながります。そのためにも「デジタル」、「グリーン」、「健康・医療」など、ウィズコロナ、ポストコロナに求められる構造転換に向け、長期的視点に立った日本企業の改革を後押し、加速させることが必要です。

延期になった東京オリンピック・パラリンピックも今夏の開催に向け準備が進められております。野球やソフトボール競技が開催される福島も大きく注目されます。東日本大震災からの復興を世界に発信するまたとないチャンスでもあり、皆様の更なる御活躍に御期待申し上げます。

最後に、福島商工会議所青年部のますますの御発展と本日御参集の皆様方の御健勝、御多幸を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 祝　辞

福島県知事

**内堀 雅雄**

福島商工会議所青年部創立35周年を心からお喜び申し上げます。

貴青年部の皆様は、昭和60年4月に創立されて以来、地域を支える青年経済人として、商工業の振興・発展はもとより、元気で活力のある地域づくりを推進する様々な事業に積極的に取り組まれており、改めて感謝申し上げます。

長年その活動を支えてこられた歴代会長を始め会員の皆様の御努力に対しまして、深く敬意を表します。

震災から間もなく10年を迎えようとしております。

県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は復興への歩みを着実に進めてまいりました。

一方で、今もなお、多くの方々が避難生活を続けておられるほか、急激な人口減少、さらには台風被害からの復旧、今般の新型コロナウイルス感染症への対応など、本県は様々な困難を抱えております。

県といたしましては、引き続き、危機意識とスピード感を持って、これらの重い課題からの復興と地方創生に取り組んでまいる決意あります。

また、貴青年部が長年取り組んでこられた誘致活動が実り、春から放送されたNHK連続テレビ小説「エール」によって、古閑裕而記念館の来場者が開館以来の来場者数を記録するなど、ゆかりの地に県内外から多くの観光客が訪れており、みんなが元気になるとともに人々の心にずっと残るものと思います。

皆様におかれましては、激動の昭和に生まれ、平成を駆け抜け、この令和に35周年という時を迎られました。この輝かしい節目の時を新たな契機として、商工業の振興や地域の発展、さらには本県の復興と地域創生に一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、福島商工会議所青年部のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



## 祝　辞

福島市長

**木幡 浩**

福島商工会議所青年部が創立35周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

皆様には、昭和60年4月の創立以来、商工業の振興はもとより地域の活性化や魅力向上のためさまざまな事業にご尽力され、市政の進展に大きなご貢献をいたしておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、東日本大震災発災から10年を迎えようとしておりますが、未だ風評被害は多くの産業に影響しております。さらに、一昨年10月に発生した台風19号による豪雨災害など、甚大な災害が全国で発生しており、大規模災害にも対応できる国土強靭化が求められております。

更には、新型コロナウイルス感染症の感染者が全国的に増加し、社会・経済活動へ大きな影響を及ぼしております。

このような中において、青年部の皆様の結束と情熱そして行動力を發揮され、地域振興のため、「福島わらじまつり」の運営をはじめとした各種事業に積極的に取り組まれ、その成果を挙げられておりますことは、歴代会長の皆様をはじめ会員各位のたゆまぬご努力の賜物であり、衷心より感謝と敬意を表する次第であります。

特に、連続テレビ小説「エール」は、古閑メロディーを随所に織り込み、コロナ禍に苦しむ私たちに文字通りエールと感動を与えてくれました。放送の実現に取り組まれました青年部のこれまでのご努力に感謝申し上げます。

本市といたしましても、古閑裕而氏を活かしたまちづくりを今後も進めるとともに「風格ある県都ふくしま」の実現に取り組んで参りますので、皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、この35周年を契機とし、なお一層の活躍をご期待申し上げますとともに、福島商工会議所青年部の限りなきご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



## 祝 辞

福島商工会議所 会頭

**渡邊 博美**

福島商工会議所青年部創立35周年を心からお祝い申し上げます。

青年部の皆様におかれましては、昭和60年4月に設立されて以来、歴代会長のリーダーシップのもとメンバーが一丸となり、地域商工業の振興はもとより地域の活性化や魅力づくりにご尽力され、商工会議所の大きな一翼を担っていただきしてきたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルスは、年末には福島市が緊急警報を発令するなど依然として感染拡大が止まらず長期化することが懸念されています。

そのような中、青年部の皆様はより良い福島を創造するために、柔軟な発想、勇気と情熱を持って、様々な事業を積極的に実施してこられましたが、今年度は、

感染症の拡大防止を図りながらの事業活動となり、相当のご苦労があつたかと存じます。

また、福島市の夏の風物詩である「福島わらじまつり」や東北を代表する6つの祭りが一堂に会する「東北絆まつり」においても青年部の皆様には中心的な役割を担っていただきおり、更には、長年にわたり実施してきた署名活動の成果として、2020年春より古関裕而氏を主人公としたNHK朝の連続テレビ小説「エール」が放送されるなど、福島市の経済発展に多大なる貢献をされましたことに対し心より感謝申し上げます。

本年7月に本市で開催される東京2020オリンピック競技大会のソフトボール・野球競技は、東日本大震災と原発事故の発生から10年目を迎え、復興に向け不斷の努力を続けてきた福島市を国内外に伝える「復興五輪」の象徴として、絶好の機会だと考えます。

青年部の皆様におかれましては、創立35周年を契機として、失敗を恐れず若者らしい大胆で挑戦的な事業に取り組んでいただきたいと存じます。

結びに、福島商工会議所青年部の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を心より祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。



## 祝 辞

福島商工会議所青年部 OB 会 会長

**大宮 剛雄**

福島商工会議所青年部の創立35周年、誠におめでとうございます。永き歴史を連綿と紡いでこられたことに対し、心からお祝いを申し上げます。また現在に至るまで親会をはじめ関係各位には多大なるご支援と温かいご指導を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて当青年部は「第6回全国大会ふくしま大会」誘致に伴い、当時の親会の要請により昭和60年4月に設立されました。ご苦労されながらも全国大会を無事成功に導き、黎明期の「雪うさぎ事業」「わらじまつり」等数多くの事業を通して、青年部の認知度を高めるとともに本会の礎を築かれました。先輩諸氏の勇気ある活動に心から敬意を表します。

また成長期においては「東北ブロック大会」「YEG 大賞受賞」「ふくしま屋台村」「ファミリーマートとの

コラボ商品開発」等数多くの新たな事業を展開しました。成果を上げてくれた同世代の仲間たちの前向きな思考と積極的な行動に感謝申し上げます。

そして現役会員の皆様には六魂祭や東北絆まつりを通して「わらじまつり」を全国にPRするとともに、地道な活動によりNHKの朝ドラ「エール」誘致を成功に導かれました。まさに「努力すれば夢は叶う」ことを行動で示されたことに感動しました。現役会員の皆さんの努力に「ありがとう!」を贈ります。

今年度のテーマは「親愛なる2020 福島へようこそ～福島よ、いざ!～」と聞いております。新型コロナウイルスにより活動に影響があることと思いますが、渡邊啓道会長の下で35年間の歴史をしっかりと総括し、青年部らしい自由で斬新な発想と失敗を恐れない行動により、福島の明るい未来を創造頂きますことを祈念申し上げ、創立35周年の祝辞といたします。

福島YEGの更なる進化成長に大きな期待を寄せて。 Boys Be Ambitious!



## 祝　辞

日本商工会議所青年部 直前会長

### 田中 哲之

福島商工会議所青年部が創立35周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。また、常日頃より日本YEGの活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年度日本YEGでは、「Next age, the future of YEG～新時代の幕開け同志と共に力と情熱を結集し、未来の創造へ前進～」をスローガンに掲げ活動を展開してまいりました。

元号が「平成」から新たに「令和」へと変わり、私たちは時代に急激な変化を求められているなかで、新型コロナウイルス感染拡大により更に急速で大幅な変化を求められています。平成と共に成長を続けたYEGですが、全国の33,000名を超えるメンバーが時代の変化を感じ、新たな時代の潮流を生み出し、更なる飛躍を成し遂げるためには、メンバー間の交流、

情報交換を今まで以上に活発に行う必要があります。今までにない新しい切り口を持って是非とも成し遂げていただきたいと考えます。

先を見据えた行動をとることは、青年経済人として当然のことです。未来を見据えたYEGの姿を表現していきましょう。

『この国の未来を創るのは、俺たちだ!』時代に求められ、地域に愛される。そんなYEGを、共に創っていきましょう。

結びに、長きにわたりYEG活動にご尽力された先輩諸賢をはじめとする福島商工会議所青年部関係者の皆様に心から敬意を表し、皆様方の企業、地域の益々の発展をご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



## 祝　辞

日本商工会議所青年部 会長

### 米良 充朝

福島商工会議所青年部創立35周年誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。また、福島商工会議所青年部の皆様におかれましては、平素より日本YEGの活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、世界中が感染症という目に見えない脅威に直面しておりますが、人類が叡智を結集し、一刻も早く克服できることを日々願っております。

さて、令和2年度(2020年度)日本YEGは、The Roles and Wishes of YEG～5つの役割と願いを擧に込めて、希望溢れる未来へ大輪を結ぶ～をスローガンに掲げ、理事ならびに9つの委員会を中心活動を展開してまいります。日本YEGが携わる全事業が、単会の皆様にとって有益で、選択と行動の幅

や深みを増幅させる事業であるよう全力を賭してまいります。

日本YEGは全国の約34,000名が在籍する連合会です。連合会の最大の長所はその規模を活かしていく事にありますが、その長所を最大限に引き出すのは、当事者意識です。地元を、日本を、自分の事と捉え、関わっていく事こそが、地元を、日本を、「今まで」以上に前進させていく事に他なりません。その取組みができるこそそのスケールメリットです。

共に全力で全盛期の「今」を創造して、「今から」に繋げてまいりましょう。

全ては団結と連帯の名のもとに、「今」を刻む責任世代として。

Let it Roll!



## ご挨拶

福島商工会議所青年部 直前会長

### 加藤 淳志

福島商工会議所青年部(以下福島YEGと表記)が創立35周年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年から続く、コロナ禍の中35周年を迎えられ、40周年に続くスタートを切れたのは、先輩方のご指導、会員の皆様の活動に対する気概の高さ、関係各位のご協力の賜物と心より感謝をしております。

福島YEGは昭和60年の創立以来35年の長きにわたり、福島の街の発展の為、子どもたちの未来を創る為、そして何より自分自身の研鑽の為、綱領、指針に基づき活動をしてまいりました。

35周年を迎えた年度は「Do one's best～未来に向かって突き進め…そして感謝を～」のスローガンの下「Believe2020古閑委員会(古閑裕而氏・オリンピック・パラリンピック関連担当)」「Evolutionまつり委員会(福島わらじまつり企画、運営担当)」「Smile35式典委員会(記念式典担当)」「Thanks35記念事業委員会(記念式典担当)」の4委員会で構成され、それぞ

れの委員会が精一杯に夢を語り、精一杯に夢に向かって突き進み、精一杯に夢を実現させております。

その中でも「福島わらじまつりの企画、運営」また「古閑裕而関連事業」は福島市のみに留まらず全国各地より注目をされ、福島県を代表する事業となっており、震災以来の風評被害の払拭、何より福島の元気さ、楽しさを発信し続けております。

記念事業である「Thanks to Fukushima・福島の未来・福島の文化」では、東京2020参画プログラムの1つとして、福島の元気な子どもたちによるスポーツゲーム大会、古閑裕而氏のメロディーの演奏を行い、いち早く東京2020大会の盛り上げに協力し、参加していただいた子どもたちの中から未来的オリンピア、パラリンピア、文化人が生まれる事を願い開催いたしました。

そして35周年記念式典に関してはオンライン開催となりましたが、現役、OB、他単会、他団体の皆様とそれぞれの地域にかける思いを共感していただき、共にコロナという未曾有の敵と闘っていきたいと思います。

最後に改めてご支援ご協力を頂戴しました関係各位、共に県内外YEGや他団体の皆様に心より感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

福島商工会議所青年部 会長

### 渡邊 啓道

福島商工会議所青年部の創立35周年にあたりご挨拶を申し上げます。35周年というこの節目を迎えることができたのは、皆様からの多大なるご支援の賜物であり、改めまして心より感謝を申し上げます。また、新型コロナ感染拡大防止の観点から、式典の延期や、開催規模とその方法について再検討等を余儀なくされながらも記念式典・記念講演を迎えていただきますこと深く御礼申し上げます。

福島県は、2019年イギリスガーディアン紙において「2020年訪れるべき20の場所」に日本で唯一選出されました。復興五輪として東京オリンピックの聖火リレーがスタートする場所であること、歴史の深さ、温泉文化の豊かさ、壮大な景色等々が評価されての快挙でした。そんな中、福島市では東京オリンピックの野球・ソフトボールの試合が行われること、そして福島YEGが長年にわたり誘致活動をしてきた古閑裕而・金子夫妻をモデルにした朝ドラ「エール」の放映が決まっているなど、例にない盛り上がりが期待される年でした。

今年度のスローガンである「親愛なる2020 福島へようこそ～福島よ、いざ!～」は、古閑裕而作曲で、戦後復興の象徴であるオリンピックマーチを2020復興五輪で再演することと、朝ドラの実現を目指し行進を続けてきた福島YEGの一つの集大成という思い、そして、福島が全国から、世界から頂いてきたエールを今度は福島から皆様へお返しするんだという想いのもと掲げさせていただきました。

様々なものが中止・延期され、その想いが成し遂げられない中、多方面に変化を求める状況にあり、YEGのE(アントレプレナーシップ、起業家精神)の重要性がより高まっています。「変化に対応しながらも目標を変えることなく前進する」起業家精神をそのようにとらえながら今年度の事業に取り組んでまいりました。オンラインでの会議や定例会を開催しながら、離れていても繋がれることの喜びを感じ、情熱に支えられた技術の重要性を実感する年になると同時に、これまでの「つきなみな」事柄がいかに心にしみるものだったかを再発見します。それらの価値観を両輪とし、青年部指針にある「次代の先導者としての責任」を自覚しながら前進してまいります。

結びにご支援ご協力を頂きました関係各位、YEG同志の皆様、各団体の皆様に改めて感謝を申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

# 35周年記念式典・記念講演

## スケジュール

開催日 令和3年2月27日

会場 ザ・セレクトン福島3階「安達太良」

16:00

### オープニングセレモニー

福島商工会議所青年部35周年記念事業内容DVD放映

16:10

### 記念式典

1. YEG 宣言
2. 開会宣言
3. 国歌静聴
4. 商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」静聴
5. 商工会議所青年部「綱領」静聴・「指針」静聴
6. 35周年会長挨拶 福島商工会議所青年部 直前会長 加藤 淳志
7. 来賓祝辞 福島市長 木幡 浩様  
福島商工会議所 会頭 渡邊 博美様  
福島商工会議所青年部 OB会会長 大宮 剛雄様
8. 歴代会長への感謝状・記念品の贈呈 第29代会長 山岸 竜大様  
第30代会長 佐藤 昌彦様  
第31代会長 加藤 貴之様  
第32代会長 明石 英樹様  
第33代会長 田中 富幸様
9. 代表者より謝辞
10. 夫婦YEGへの感謝状の贈呈 豊橋商工会議所青年部 直前会長 原田 淳一様
11. 閉会宣言

16:50

### 記念講演

1. 開会
2. 主催者挨拶 福島県商工会議所青年部連合会 会長 古川 貴大
3. 講師紹介
4. 講演 演題 「大衆に寄り添った作曲家古関裕而」  
日本大学商学部准教授 刑部 芳則氏
5. 謝辞

17:50

### エンディングセレモニー

1. 会長挨拶 福島商工会議所青年部 会長 渡邊 啓道
2. エンディング映像放映

18:10

3. 閉会

# 35年の歩み

## 昭和60・61年度 初代会長 石森 成彦

- 福島商工会議所青年部 設立総会
- 長嶺ヤス子フラメンコチャリティー公演(公演の益金100万円を福島市社会福祉基金へ寄付)
- 第6回商工会議所青年部全国大会福島大会主管開催



福島商工会議所青年部設立総会

## 昭和62・63年度 第2代会長 鈴木 洋一

- 福島商工会議所70周年記念式典前夜祭 「芹洋子ディナー＆カクテルショー」
- 三井シンポジア トウモロウ・パネルトーキング
- ウォッティング福島の実施



創立5周年記念講演

## 平成元年度 第3代会長 岩見 政弘

- 創立5周年記念例会 ●街角ウォッキング
- 夏まつりへの参画



雪うさぎ市民フォーラム

## 平成2年度 第4代会長 遠藤 彰

- 雪うさぎプロジェクト事業 ●雪うさぎ市民フォーラム
- 秋山宇宙特派員特別講演会



雪うさぎ市民フォーラム

## 平成3年度 第5代会長 加藤 利夫

- 雪うさぎ目入れ事業 ●雪うさぎフォトコンテスト
- 会津若松YEGとの交流会 ●ビーチサンバへの参加



会津若松YEGとの交流会

## 平成4年度 第6代会長 阿部 幸造

- 第1回うつくしまあるきめです
- 会津若松YEGとの交流会



創立10周年記念式典

## 平成5年度 第7代会長 藤橋 進一郎

- 第2回うつくしまあるきめです
- 二本松・郡山観察移動定例会
- 会津若松YEGとの交流会(ビーチサンバへの参加)



第2回うつくしまあるきめです

## 平成6年度 第8代会長 織田 剛藏

### 第9代会長 斎藤 裕一

- 創立10周年記念式典
- 創立10周年記念講演会 佐藤直子氏(元プロテニスプレイヤー)
- 創立10周年記念 歴代会長サミット
- 雪うさぎ関連事業「ペチャカン寄贈」



環境保全イベント「環・観・感」

## 平成7年度 第10代会長 本間 正一郎

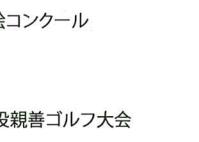
- ふくしま国体歓迎イベント主管 ●落合信彦講演会
- 第1回ファミリージャンボリー



第2回私たちのふるさとの絵コンクール

## 平成8年度 第11代会長 大槻 博太

- 東北中央自動車道建設シンポジウム ●第2回ファミリージャンボリー
- 相馬YEGとの交流会 ●ホームページ作成事業



第1回ロマンチックあづま市民コンサート

## 平成9年度 第12代会長 菅野 日出喜

- 雪うさぎの絵コンクール ●米沢YEGとの交流会
- 第3回ファミリージャンボリー



東北ブロック大会うつくしま  
福島大会PRキャラバン

## 平成10年度 第13代会長 野内 孝昌

- 環境保全イベント「環・観・感」開催 ●第1回私たちのふるさとの絵コンクール
- 第1回県北地域経済交流サミット ●第4回ファミリージャンボリー



第2回私たちのふるさとの絵コンクール

## 平成11年度 第14代会長 大宮 剛雄

- 創立15周年記念式典・講演会・祝賀会 ●創立15周年記念OB・現役親善ゴルフ大会
- 創立15周年記念事業 第2回私たちのふるさとの絵コンクール



東北ブロック大会うつくしま  
福島大会PRキャラバン

## 平成12年度 第15代会長 斎藤 孝裕

- ロマンチックあづま協議会への参画 ●第1回ロマンチックあづま市民コンサート主管
- ロマンチックあづまウインターイベント



第1回ロマンチックあづま市民コンサート

## 平成13年度 第16代会長 秋葉 義朗

- 第2回ロマンチックあづま市民コンサート主管
- 東北ブロック商青連移動役員会福島会議
- 1市9町商工会青年部との交流会



東北ブロック大会うつくしま  
福島大会PRキャラバン



平成14年度

**第17代会長 赤間 駿行**

- 第21回東北ブロック大会「うつくしま福島大会」主管開催
- 記念式典 ●記念講演会 塙 義一氏(日産自動車(株)会長)
- 記念講演会 中坊 公平氏(弁護士)



平成15年度

**第18代会長 小林 仁一**

- 「福島」元気回復!経営改善セミナー
- 福島わらじまつりの企画段階からの参画・運営
- 会員連絡網IT化事業



平成16年度

**第19代会長 安斎 浩**

- 創立20周年記念事業
  - ・講演会 浅田 次郎氏(作家)
  - ・雪うさぎ弁当コンテスト(YEG大賞受賞)
  - ・吾妻の雪うさぎポストカード作成、販売



平成17年度

**第20代会長 五十畠 昌之**

- 吾妻の雪うさぎ関連事業
  - ・フォトコンテスト・スイーツコンテスト
  - ・「パン」「おむすび」「デザート」商品化(YEG大賞受賞)
- ふくしま屋台村「こらんしょ横丁」オープン



平成18年度

**第21代会長 小口 直孝**

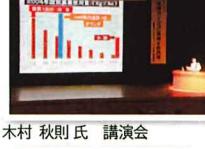
- ふくしま屋台村「こらんしょ横丁」リニューアルオープン(YEG大賞グランプリ受賞)
- 「吾妻の雪うさぎ商品」全国発売



平成19年度

**第22代会長 半沢 正典**

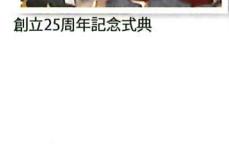
- 「わがまちパック・トゥ・ザ・フューチャー」開催
  - ・講演会 菊谷 秀吉氏(北海道伊達市市長)
- 「地球のステージ 2007 in 飯坂温泉」共催
- ふくしま屋台村地産地消フェア



平成20年度

**第23代会長 鈴木 晃夫**

- 特別セミナー「居酒屋てっぺん大嶋社長講演会」開催
- 吾妻の雪うさぎエコバッグデザインコンテスト
- ふくしま屋台村「JRA福島競馬場とのコラボレーションイベント」開催



平成21年度

**第24代会長 阿部 幹郎**

- 創立25周年記念式典 ・記念講演 川本 和久氏(福島大学陸上競技部監督)
- 吾妻の雪うさぎ Open Eye's Project ●出張!山形の日本一の芋煮会フェスティバル



平成22年度

**第25代会長 本多 紀和**

- 木村秋則講演会 木村 秋則氏(完全無農薬自然栽培りんご農家)
- 福島YEGフリーマーケット発見市 ●福島県で当地グルメサミット in 福島



平成23年度

**第26代会長 八島 一史**

- 東日本大震災復興支援等を通じた県外YEGとの交流
- 東北六魂祭への参加
- 弘兼憲史講演会 弘兼 憲史氏(漫画家・作家)



平成24年度

**第27代会長 石崎 孝行**

- 子どもたちの未来へ Run for Peace in ふくしま
- 中村文昭講演会 中村 文昭氏((有)クロフネカンパニー 代表取締役)
- 激論!どーする福島 復興2年目をむかえて徹底討論!~2013年 希望の持てる福島へ!



平成25年度

**第28代会長 酒井 祐一**

- 東北六魂祭2013福島への参加
- ふくしま納豆フェスティバル in まちなか広場
- 二宮清純講演会 二宮 清純氏(スポーツジャーナリスト)



平成26年度

**第29代会長 山岸 竜大**

- 地域振興に関する事業
- 福島商工会議所青年部創立30周年記念式典、30周年記念事業、30周年記念誌の発行
- 団体交流に関する事業
- 震災復興に関する事業



創立30周年特別事業  
「上海視察研修」

# 35年の歩み



## 平成27年度 第30代会長 「Conversion! all fyegで新たな一步を!」 佐藤 昌彦

- 東北六魂祭2015in秋田、山車フェス、福島わらじまつり 参画、運営
- 経営における知と熱 開催
- 福島の歴史を見てきた信夫山からの未来展望 開催
- ふくしまでうたおう愛と夢 開催
- マーチングfromふくしま 開催



## 平成28年度 第31代会長 「県都創生!～Let's Create Value～」 加藤 貴之

- 東北六魂祭in青森、福島わらじまつりへの参加、運営
- マーチングfromふくしま2016 古関裕而音楽フェス♪ 開催
- ふくしま醉路酒食ラ～リ～ 開催
- 復興の花束事業 開催
- 「古関裕而・金子夫妻NHK朝の連続テレビ小説実現協議会」設立



## 平成29年度 第32代会長 「人数分の物語」 明石 英樹

- 東北縊まつり2017仙台、ふくしま山車祭り、福島わらじまつり 参画、運営
- ふくしまからはじめよう～マーチングfromふくしま2017～ 開催
- ANB33 Akashi year New Business matching starting from the 33 開催
- YEG CAMP 開催
- Tell me your history 開催



## 平成30年度 第33代会長 「ブレイクスルー -Breakthrough-」 田中 富幸

- 東北縊まつり2018盛岡への参画、運営
- ふくしま山車祭り、福島わらじまつり 参画、運営
- ふくしま古関楽団2020 (FKG2020) 開催
- 福島おかずフェス 開催
- ふくしまYEG 大人の大運動会2018 開催



## 令和元年度 第34代会長 「Do one's best」 加藤 淳志

- 東北縊まつり2019福島参加第50回福島わらじまつり 参画、運営
- 福島市民2020参加宣言 "YELL" from Fukushima city 開催
- 福島商工会議所青年部創立35周年記念事業、記念式典、記念講演、祝賀会 開催
- 福島商工会議所青年部創立35周年記念誌 発行
- Passion of YEG 開催
- YEG大賞受賞(豊橋YEG共同) 2020年前期NHK朝ドラ「エール」誘致事業



## 35周年記念事業内容

本事業は、福島YEGの歴史を作り上げてきた諸先輩方、青年部の活動を見守り支えてくださった福島商工会議所会頭を始めとする会員の皆様、また青年部の活動に参加してくださった地域の皆様に感謝を伝えたいという加藤淳志会長の強い思いから始まりました。

事業名は感謝を伝える意味を込め、「Thanks to Fukushima」。

我々青年部は、昨年度5年間ひたむきに活動を続けたNHKの朝ドラ誘致に成功しました。

次の目標は、2020年東京オリンピック・パラリンピック2020の開会式で福島の若者たちが古閑裕而氏の作曲したオリンピックマーチを演奏し、世代を超えてあの1964年東京オリンピックの感動を体感していただくことです。

その目標に向け、感謝の思いを伝えつつ、何かできることはいかと考えついたのが、東京2020参画プログラムの認証を取得した上で、本事業を東京オリンピック・パラリンピック2020の公認事業として行うことでした。

震災から約10年が過ぎ、福島で元気に過ごしている子どもを見ていただく子ども事業「福島ちびたんピック」、福島を代表する音楽家としてNHKの朝ドラのモデルになる古閑裕而氏の残した音を奏でる音楽事業「ふくしま古閑楽団2020によるオリンピックマーチの演奏」・「幼稚園児によるオリンピックマーチのマーチング」、福島の復興をアピールするうえで欠かせない地元の美味しい食を味わっていただく食事業「福島食の感謝祭」の3つを複合し、1つの事業として行いました。

当日は「福島ちびたんピック」の参加選手である未就学児の子どもたちが父母の方と手を繋ぎ、ふくしま古閑楽団2020の演奏するオリンピックマーチとともに入場いたしました。

先に挙げた目標である東京オリンピック・パラリンピック2020でのオリンピックマーチの演奏を思い浮かべた会員も多かったのではないでしょうか。

本事業を通して、東京オリンピック・パラリンピック2020で世界に発信される福島、その福島の良さを些少でも感じていただければ幸いです。

Thanks35記念事業委員会 委員長 大和田 真生



## Believe2020古関委員会

### うずき、うねり、そして実現



写真提供／福島民友新聞社



#### ■事業内容

1. 古関裕而関連事業の企画・運営  
(東京オリンピックパラリンピック  
関連含む)
2. 定例会の企画・運営
3. 会員拡大

今は去ること5年前に生まれた大きな夢が、少しづつ現実に近づいてきました。

朝ドラと東京オリンピックパラリンピック開会式への出演という夢です。

2019年度に、全てが決まります。

しかし、まだ何も決まってはいません。

しかるべきところに向けて、しかるべき方法で、しかるべきアプローチを重ねる。

そして、全ての結果を出す年です。

朝ドラは署名活動を経て、今年度中に発表になります。

採用を信じて止みませんが、発表後の活動も非常に大事になります。

オリンピック開会式に向けては昨年立ち上げた古関楽団の活動を充実させるとともに、これまで培ってきた福島市や豊橋YEG、福商といった外部団体との信頼関係をベースに東京や世界に我々の活動が届くことを信じてPRしていきます。

継続事業として6年度目、新規事業を中心活動をしてきたYEGとしては異例のことではあります。

しかし、事業の発展と拡大のため、そして期待されている結果を出すために何をすべきか、青年経済人として当委員会の活動を通じて学ぶことは各自が会社に戻った時にその任務や事業を果たす上で役に立つことを信じています。

色々なbelieveを古関メロディにのせ、今年も2020に向けたマーチングを進めていきます。

#### 【委員会メンバー】

渡邊 啓道	山田真樹人	金子 真也	工藤 貴大	齋藤 健悟	武川 修一	渡辺あゆ美
西形 吉和	井川 祐與	紙谷 瑞恵	後藤 麻友	齋藤 宏幸	平井 学	渡辺 智也
佐藤 純男	大沼 健弘	菅野 敦史	小林 大輔	齋藤 悠介	古川 裕一	
林 善克	加藤 貴之	菅野 真	組野 大輔	佐藤 昌彦	堀合 郁雄	

## Evolutionまつり委員会

### Evolution Excite Enjoy



#### ■事業内容

1. 福島わらじまつり企画・運営
2. 「東北縛まつり」への参加
3. 他青年団体との交流
4. 定例会の企画・運営
5. 会員拡大

昭和45年、福島市と福島商工会議所が中心となり、郷土意識の高揚と福島の短い夏を楽しみ市民に憩いの場を提供するまつりとして第1回福島わらじまつりが開催されました。

あれから50年、時代に合わせて変化してきた福島わらじまつり、今年の第50回にて大きく変わります。東日本大震災があったあの年、東北六魂祭が始まり、福島県代表の祭となり県外さらには国外からも注目される祭となりました。現在の形に至るまでたくさんの先輩方が苦労して発展させてきた「福島わらじまつり」を継承、そして進化させていくことが我々の役割であり、東北縛まつり福島開催、第50回福島わらじまつりを通して新たな「福島わらじまつり」を福島市民が誇れる祭りになれるよう進化・発展させていきます。

そのため、当委員会は3つの「E」をテーマに今年は活動します。

「Evolution」進化・発展…………福島わらじまつりを大きく進化・発展させます!

「Excite」興奮する・興奮させる…まつりの醍醐味、熱狂的な興奮です!

「Enjoy」楽しむ……………まつりを見ている人、参加している人、主催者の我々も皆が楽しめます!

「福島わらじまつり」を盛り上げることにより、福島市民と福島市を盛り上げます。そして、進化した「福島わらじまつり」を県内外に発信することで福島市民のアイデンティティとなる存在にします。「福島わらじまつり」が好きという気持ちから郷土愛を深め、地元への誇りをさらに高め、福島を活性化し、豊かで住みよい郷土作りに貢献します!

大好きな福島、地元、そして家族、仲間、大切な人のために、皆さん一緒に楽しく!盛り上がりましょう!

#### 【委員会メンバー】

佐藤 雅一	宮崎 貴志	茨木 真也	菅野慎一郎	千葉 貴行	夏井 一樹	森藤 洋紀
白山 正樹	赤間 浩一	遠藤 淳弘	岸 秀樹	丹治 順光	新田浩亜吉	吉田 寛司
鈴木 優	阿部 高太	大内 淳子	組野 満	塚原 仁司	古戸 仁	渡辺 堅三
菱沼謙一郎	天城 友宏	小形 リカ	杉本 渉	鶴飼 隆則	森 真由美	

## Smile 35式典委員会

# 35th Birthday!笑顔で感謝を伝えよう(^^)v

～35年分の感謝を未来へ～



昭和60年4月に設立された福島商工会議所青年部は、今年度創立35年の佳節を迎えます。これまで34年もの長きに渡り活動できたのは、地域の皆様を始めとする多くの関係各位の深い理解とご協力があってこそというのは言うまでもありません。また夢を語り、何事にも恐れず、何事にもとらわれずに精一杯に活動してきた諸先輩のご努力の上に成り立っています。

当委員会では、これまでの歴史に敬意を表すると共に我々が住むこの街に感謝し、また青年部活動へ参画できることの喜びの気持ちを伝えられる機会となるよう、35周年記念式典・祝賀会を開催します。

また未来へ向けて、これから多くの仲間と夢を語り、苦楽を共にし、笑顔あふれる青年部活動を全員参加で取り組んでいけるような会員親睦事業を開催します。

「周年」というのは誕生日です。それはもうお祝いするしかありません。これまでのこと、これからのこと、感謝、希望、夢、愛、たくさんの思いを乗せて、たくさんの笑顔で、会員全員でこの誕生日をお祝いし、未来に向かって一人ひとりが輝きBestを尽くせる活動を展開してまいります。

## ■事業内容

## 1. 35周年記念式典・祝賀会の企画・運営

企画・運営

## 2. 定例会の企画・運営

## 3. 会員拡大

## 【委員会メンバー】

野地 利彦	野地 大輔	猪股佳央里	佐々木清憲	鈴木 琢深	羽賀 亮輔	渡辺 仁
加藤 大信	明石 英樹	太田 哲	佐々木直也	高橋 美博	古溝 孝	
安齋 忠幸	浅野 貴之	菅野 慎哉	鈴木 勝則	田口 敏啓	渡辺 勝幸	
大久保晴美	井上 忠輔	齋藤 嘉紀	鈴木 健司	田中 富幸	渡辺 恒之	

## Thanks 35記念事業委員会

# 1年後、10年後、その先の福島を見据える35周年

～未来につながる活動を～



福島商工会議所青年部は、昭和60年4月に福島商工会議所のもと設立され、今年度創立35周年を迎えます。まず、これまで福島商工会議所青年部の歴史を作り上げてきた諸先輩方、青年部の活動を見守り支えてくださった福島商工会議所会員の皆様、また青年部の活動に参加してくださった地域社会にお住いの皆様に感謝をお伝えしたいと思います。そしてよいよ来年は東京オリンピックの福島開催を迎えることとなります。この福島開催は東日本大震災から9年を経た福島の復興をアピールする最大の場になると考えております。

そこで、当委員会では今までの福島商工会議所青年部活動の原点に焦点を当て、オリンピック開催を迎える1年後、45周年を迎える10年後、そして、その先の未来へ。未来につながる35周年記念事業を開催いたします。

そして、委員会の頭語である「Thanks」のもと、福島商工会議所青年部会員一人一人が福島について考え、福島について思いを馳せ、自分が生まれ育った福島、人によっては第二、第三の故郷である福島、福島商工会議所青年部活動に快く送り出してくださる家族や会社の方に感謝を少しでも返せる年にできればと考えております。

当委員会の活動は、福島商工会議所青年部会員の皆様のご理解とご協力あっての委員会活動になってまいります。

皆様、1年間よろしくお願ひいたします。

## ■事業内容

## 1. 35周年記念事業の企画・運営

## 2. 定例会の企画・運営

## 3. 会員拡大

## 【委員会メンバー】

佐藤 良智	荻野 誠也	安齋 祐治	加藤 孝之	小賀坂宏友	佐久間智啓	本田 裕一
大和田真生	千葉 遼平	安部 茂	菅野 忠幸	齊藤 健哲	佐々木翔太	村上 守人
阿部和光治	阿部 友弘	池田 和美	草野 勇	相良 和孝	中尾 勉	渡邊 啓太

# 「エール」実現への道のり

誘致活動の軌跡をキーワードと「エール」の言葉も交えながら



## たまは駄目と言つるけど、心が行けって叫ぶの

(「エール」-第23回-) -ヒロインの母がヒロインの結婚を許すかどうかの状況で出た言葉です。はじまりとはそのようなものなのかもしれません。-

平成26年一創立30周年を迎えていた福島YEG

「行政と共に活動できることを提言する」というミッションを課せられた委員会では、焦る気持ちを抑えつつ「人物」を観光の視点から捉えてみようという話に。当然古閥裕而の名前が真っ先に出てきます。問題はPRをどうするか。もう一番影響力がある「朝ドラ」に乗せるのはどうでしょう。委員会では「100%無理だけど、言うだけ言ってみたら」etc. あたまで考えれば当然の言葉が出されます。当時の委員長もあたまでは分かっていました「難しいだろう」と。しかし、心が行けって叫んでしまったのです。



## オリンピック・マーチ

-2020を目指す。世界へ発信する。誇りと一体感を。最大のモチベーション。-

「心も浮き立つような古閥裕而作曲のオリンピック・マーチが鳴り響きます」

1964年「戦後復興」の象徴である東京オリンピック選手入場の際、高揚する実況が発した言葉です。

2020東京オリンピックは「東日本大震災からの復興」を後押しする復興五輪と位置づけられました。

復興という視点、そして古閥裕而で繋がった1964と2020。

「2020年7月24日東京オリンピック開会式当日。朝ドラでは1964年のオリンピック・マーチが日本中に流れ、同日夜、新国立競技場から再びオリンピック・マーチが世界中に響き渡る。そしてその演奏の輪の中に福島の若者を中心とした楽団を送ること。」提言の内容は決まりました。



## んばることは繋がるんやつ

(「エール」-第39回-) -

応援することの意義を探し求めていた応援団長。自分たちにできることを精一杯頑張ること。道が開かれました。-

平成27年一前年に発信した夢をかたちにすべく「マーチング from ふくしま (MFF)」と題し夢への行進を音楽祭というかたちでスタートさせました。埋め尽くす人と熱気で大盛況のなか終えたこのイベントにより委員会の夢から福島YEGの夢へと強烈に押し上げられ、次は福島市の夢とすべく平成28年MFF2年目の場から朝ドラ実現に向けての署名活動が始まりました。数多くの場にお邪魔し沢山の方々からエールをいただきながら頑張りは運命の出会いへと繋がっていきます。



## よはしとの出会い

-豊橋からのラブレターではじまった二人の物語。今度は福島から。-

平成29年2月28日一朝ドラヒロインとなるはずの古閥裕而の妻金子さんのふるさと愛知県豊橋市。

朝ドラ誘致活動と共にとの想いで訪れ、以後は豊橋・福島の両YEGがそれぞれの祭りに参加するなどの交流をしながら誘致活動を進めました。同年10月には両市合わせて15万を超える署名をNHKに提出し、平成30年8月には両YEGが夫婦YEG宣言を行いました。そのパワーに引っ張られ実現の予感が高まります。そして迎えた平成31年2月28日ー2020年上期の朝ドラは「エール」古閥裕而・金子夫妻をモデルにした物語となることが発表されました。この両YEGが連携して行った事業が評価され平成31年度には全国のYEG事業から選ばれるYEG大賞の最高賞を豊橋YEGと共同で受賞させていただきました。



## たの力

(「エール」-第17週-)

-紀元前一万年前からも変わらぬ力-

古閥裕而の残した歌の力・音楽の力と、東京オリンピック・刷新されたわらじまつり・夫婦YEG等々との相乗効果で盛り上がりを作ろうとした矢先「エール」には役割が追加されることになりました。

くしくもそれは古閥裕而がその人生で担った役割と同様、人に寄り添い励まし続けることでした。

なぜ「エール」の年にという悔しい思いと、こんな時期だから「エール」じゃなきゃ駄目だったんだというどこか誇らしい思いが交錯します。まだ落ち着きは取り戻せませんが、平成30年に発足した「ふくしま古閥樂団2020」も歌の力、音楽の力を届けていけるよう行進を続けていきたいです。

皆様から頂いたエールをこれからお返ししていくことを願って。

福島商工会議所青年部 令和2年度会長 渡邊啓道



福島商工会議所青年部 令和元年度 会員名簿

氏名五十音順(敬称略)

氏名	企業名	氏名	企業名
明石 英樹	(株)明石設計事務所	佐々木清憲	医療法人 生愛会
赤間 浩一	芝精機(㈱)	佐々木翔太	(株)ロックファミリー
浅野 貴之	(株)カリーナ (DUCCA 福島店)	佐々木直也	(有)萬清
阿部 高太	陽光社印刷(㈱)	佐藤 純男	(株)花の店サトウ
阿部 友弘	(有)交友会建設	佐藤 雅一	佐藤マシナックス工商(㈱)
阿部和光治	阿部商事(有)	佐藤 昌彦	税理士法人 MASTAC 佐藤会計 笹谷事務所
天城 友宏	(有)金袖	佐藤 良智	(株)アプロト
安齋 忠幸	(株)安斎果樹園	白山 正樹	ソニー生命保険(株)郡山支社
安齋 祐治	(株)TAKAGI 工業	杉本 渉	(有)杉本商店
安部 茂	東栄物産(㈱)	鈴木 健司	友愛プロサービス(株)
井川智佳子	(有)クリエイティブ・ケイト	鈴木 琢深	大栄コールドチェーン(㈱)
井川 祐與	(株)イカワ福島営業所	鈴木 優	(有)フラワーショップフローラル
池田 和美	池田運送(有)	高橋 美博	(有)I.R.D. コーポレーション
井上 忠輔	(有)ピックアップタイヨー	田口 敏啓	(株)福島民報社
猪股佳央里	美容カイロプラクティックラボ LUZ	武川 修一	ザ・セレクトン福島
茨木 真也	(有)茨木石材工業	田中 富幸	(有)田中セメント工業
遠藤 淳弘	福島水産(㈱)	丹治 賴光	おそうじ本舗東福島店
大内 淳子	(有)ユニオン企画	千葉 貴行	(株)サン・ベンディング福島
大久保晴美	DaDa	千葉 遼平	(株)テレビューフ島
太田 哲	(株)四輪販売福島	塚原 仁司	(有)T. カンパニー
大沼 健弘	ネットトヨタ福島(㈱)	鶴飼 隆則	(株)吉田産業 福島支店
大和田真生	(株)大丸工務店	中尾 勉	(株)ナカオ
小形 リカ	(有)ティクレ	夏井 一樹	(有)東北防災センター
荻野 誠也	(株)オギノ	西形 吉和	(株)西形商店
加藤 淳志	(有)カトウサインテック	新田 浩亜吉	会津建設(㈱)
加藤 貴之	(株)多宝会	野地 大輔	(株)晃建設
加藤 孝之	加藤鉄工(㈱)	野地 利彦	(株)福南電気
加藤 大信	加藤塗装工業(㈱)	羽賀 亮輔	(株)HGI
金子 真也	(株)ニューメディア 福島センター	林 善克	タカラ印刷(㈱)
紙谷 瑞恵	(株)ユアライフ	菱沼謙一郎	菱沼労務管理事務所
菅野 敦史	(株)菅野共栄会計	平井 学	(株)アビリティ
菅野慎一郎	御幸トラック(㈱)	古川 裕一	ワイザーエル(㈱)
菅野 慎哉	(株)DCT	古戸 仁	創仁健
菅野 忠幸	福島市観光開発(株)飯坂事務所	古溝 孝	豊産業(㈱)
菅野 真	(株)JUST DO IT	堀合 郁雄	弁護士法人ブレインハート法律事務所
岸 秀樹	トーニチ(㈱)	本田 裕一	(有)本田インテリア
草野 勇	(有)松北園茶舗	宮崎 貴志	スナンエキスプレス(㈱)
工藤 貴大	東京海上日動火災保険(株)福島支社	村上 守人	Karen
小賀坂宏友	(有)西部リサイクルサービス	森 真由美	風船工房 MORITTO
後藤 麻友	(株)福島中央テレビ	森藤 洋紀	森藤食品工業(㈱)
小林 大輔	(株)家具のこばやし	山田 真樹人	(株)福島映像企画
紺野 大輔	福島テレビ(㈱)	吉田 寛司	(有)吉田会計事務所
紺野 満	曲屋果樹園	渡辺あゆ美	(株)福島キャリアナビ
齋藤 健悟	福島ツーリストサービス(㈱)	渡辺 勝幸	(株)エフイーシー
齋藤 貴裕	(株)福島放送 福島支社	渡邊 啓太	福島保険サービス(有)
齋藤 健哲	FOME	渡辺 堅三	インガ(㈱)
齋藤 宏幸	福島コミュニティ放送(㈱)	渡辺 隆之	福島信用金庫
齋藤 悠介	(株)アトリエ・オレンジ	渡辺 智也	福島民友新聞社(㈱)
齋藤 嘉紀	丸藤ガラス(㈱)	渡辺 仁	新広建設(㈱)
相良 和孝	(株)アポロガス	渡邊 啓道	渡辺司法書士事務所
佐久間智啓	(株)向滌旅館		

